

令和4年度 第7回笠松町役員会議録

<開催日時> 2022年10月1日(土) 19時～20時45分

<出席者> 藤田会長・乾副会長・佐々木会計兼総務、福島会計監査、
西浦会計監査、各区々長、オブザーバ:長生会会長

<進行> 司会:乾 副会長

<内容>

I. HPのマスコットネーミング当選表彰

II. 第6回(9月度)役員会議報告 ※別紙参照

回覧済みの会議録につき、質問の有無について確認を行なう。

- ①「美松フェアリーズ」の読みについて『びまつ』と呼称する事を推奨する。
- ②「落語会」への参加応募をあらためて呼びかけ。
- ③その他、経過途中の案件についてのフォロー

III. 笠松町内会組織の課題について

(1) 7区々長より問題提起

- ① 行政からの単身者向けゴミ袋(10リットル)支給を、30リットルに変更または会費減額を希望。
 - ② 回覧版が大きく且つ硬く、ポストに入らない場合がある。柔軟性のある物に変更希望。
 - ③ 自治会プレートを自家製(暫定品)から市販品に変更希望。
- 即応の難しい件もあり、検討の時間をいただきたい。

(2) 町内会々長より、防災関連の課題・案件対応について
防災懇談会(次年度から評議会)での討議結果として…、

- ① 町内区割りを、可及的速やかに防災区割りへ統合する。
- ② 大防災訓練時(11月6日)の運営を確認する。
 - ・シェイクアウト訓練
 - ・安否確認タオルの掲出
 - ・防災訓練ポスター裏面の内容を強調したチラシを用意し、全戸に配布。
- ③ 「絆」登録者92名への対応
 - 一人暮らし高齢者49名は福祉委員会メンバーにて対応。43名は隣組で対応。
- ④ 避難訓練は、笠松北公園で行なう。
 - ・会長より、自主防災会の現状と方向性・方針を説明し、今後の防災活動への協力を依頼する。
 - ・訓練参加者の集合状況を「受付」で確認し、記念品を渡す。
- ⑤ 安否確認タオルと声かけの状況は、積水団地を標本エリアとして観測・分析し、市への報告資料とする。
- ⑥ 広報の手段として「笠松防災便り」(仮)を発行し、自助・共助について情報を共有化する。併せて防災意識の向上を図る。
- ⑦ その他、質疑について
 - ・ 防災会組織の趣旨を理解いただく事が重要。
 - 班長の輪番や入会・脱会といった意識・概念は適切ではない。
 - ・ 回覧板を見ない家庭がある。回覧板不要の意見もある。
 - ・ 町会＝防災会であることの理解が重要。
 - ・ 防災区割り統合に向けて施策検討。R5年度4月からの目標・計画を明確にする。

- ・ 笠松ホームページ(以下、HP)で方針を出し、意見をあげてもらおう。
 - ・ 泉佐野市のHPとリンクし、ハザードマップにアクセスを促す。
 - ・ HPをグーグルに正式登録する。
 - ・ R5年度の組織改革に向けて、進めることを確認した。
 - ・ R4年度 11 月の防災訓練をキックオフとする事で良いか？
 - ・ 原案・方向性提示に時間をかけず、一気呵成に行くべきでは？
 - ・ とはいえ、秘密主義にはならない事。
 - ・ 10 月の市報配布時に原案を出す。
 - ・ 10 月の市報配布時とは別に、防災と町会区割り地図＋統合のメリットとデメリット一覧を明示し、意見を記入してもらおう。
 - ・ 防災区割り組織の重要性。「町会組織も防災も崩壊する！」という意識づけ？が重要。
- ・ HPに掲載する内容を、回覧と同時に出す。
 - ・ 防災区割りと町会区割りを別に示し、現在の町会区割りを新しい(防災)区割りに。
 - ・ HPに役員会議録を掲載する。
 - ・ 意見を受ける方法を作成する。

(3)その他

- ・ 「赤い羽根」共同募金…前年実績10万円を予定。別途にいただいた7区 17 組からの募金(¥7,935)と併せて入金する。
- ・ 「敬老の日」のギフト…80才以上 196 名の方に米 2Kg 贈呈。総経費約 19 万円。配達にかかる負担が大きく、次回以降の施策再検討が必要。
- ・ 町内会: 10/16…落語会の開催
- ・ 福祉委員会: 10/5…ミニSL乗車体験、10/15…さわやか交流会
- ・ 自主防災懇談会の拡大、防犯 灯／カメラの整備、水路の清掃完了、三ツ池公園前道路のグリーンゾーン設置を次年度予算化、環境美化ポスターの受付は継続中。
- ・ 市への補助金申請状況…LED新設_計10ヶ所、防犯カメラ新設_4ヶ所



次回役員会は、11月5日(土)19時～